

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	中村 朝日	学校名	名古屋市立白金小学校
実施学年	小学校 1年生	教科	算数科
単元名	3つのかずのけいさん		

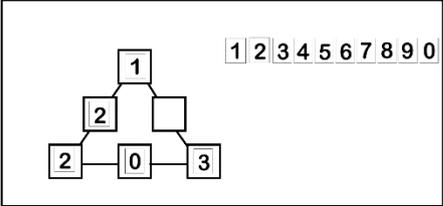
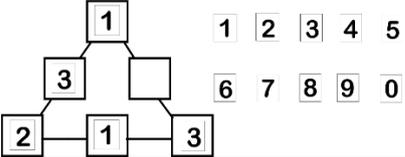
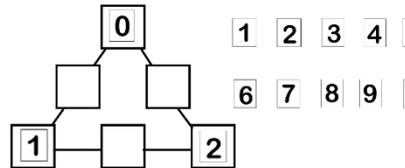
《学びを深めたいポイント》

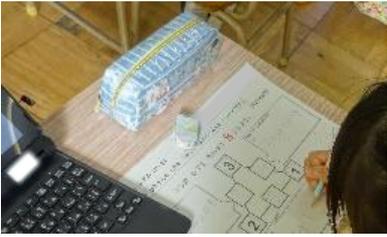
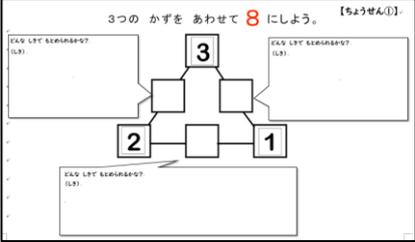
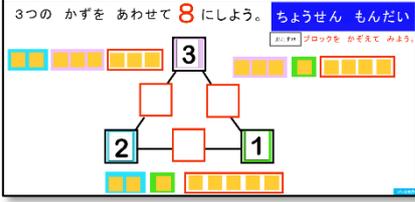
- ・三角パズルを使うことで、3つの数の計算を楽しく、必然性のある活動にし、進んで学ぶことができるようにする。
- ・レベル分けした問題を、順に取り組むようにさせることで「もっとやってみたい」から、自分が分かったことを「みんなに伝えたい」と自然に対話が起ころうようにする。

《SKYMENU 活用のポイント》

スカイメニュークラウドのノートの機能を活用し、三角パズルに数字カードを当てはめる操作をしながら考えさせることで思考過程を容易にし、意欲を高める。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	1 本時の問題をつかむ <div data-bbox="215 1189 1370 1245" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <本時の問題> さんかくパズルのあいているところにはどんなかずがはいるかかんがえよう。 </div>  <p style="text-align: center;">導入場面</p>	 <p style="text-align: center;">導入で使用した発表ノート</p>	計算を苦手とする児童でも、数字カードを操作することで一つずつ確かめながら答えにたどりつけるようにした。
展 開	2 問題を考える。 (1) 数字カードを操作して、問題を解く。  <p style="text-align: center;">タブレット操作をしながら答えを求める児童</p>	<div data-bbox="616 1541 1059 1742" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 3つの かずを あわせて 6 にしよう。 あんしん もんだい①  <p style="text-align: center;">あんしんもんだいの発表ノート</p> </div> <div data-bbox="616 1809 1059 2040" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 3つの かずを あわせて 7 にしよう。 がんばる もんだい  <p style="text-align: center;">がんばるもんだいの発表ノート</p> </div>	レベル分けした問題を、発表ノートを複製して作成し、簡単な問題から順に取り組ませることで、進んで学ぶことができるようにした。 【レベル分けについて】 ①あんしんもんだい ②がんばるもんだい ※③ちょうせんもんだい (プリント)

	<p>(2) 立式をして、問題を解く。</p>  <p>タブレット操作で求めた答えを式にする児童</p>	 <p>ちょうせんもんだいのプリント</p>  <p>おたすけ用発表ノート</p>	<p>③ちょうせんもんだいは、学んだことを生かして立式することを求めたが、「おたすけ」として発表ノートに数図ブロックが表示してあるものを用意した。半数程度の児童が「おたすけ」を見て$0+0+0$の3つの数を使って立式することができていた。</p>
<p>ま と め</p>	<p>3 学習を振り返る</p>		

《実践を振り返って》

- 問題をレベル別に設定し、簡単な問題から順に児童が自分に合った進捗で取り組むことができるようにしたことで、意欲を高め一人一人の理解度に合った進捗で進めることができた。
- 発表ノートの数字カードを操作させることで、計算が苦手な児童にも、一つ一つ確かめながら答えを求めることができる安心感をもたせることができた。
- 全体を通してゲーム性のある楽しい活動となったため、児童同士の交流も教師が促すことなく自然と行われていた。